

山間地の町道管理は

定期的に巡回している



はまむら ひろし 議員
濱村 博

いて目の前へ落ちてきたような怖い経験をしたことも何っている。この点について、定期的な見回り等の管理はしているのか。

答 森田まちづくり課長

問 山間地の道路維持管理については定期的に見回りを行っているのか。また、行っていないのであれば、これから先行っていくのか、考えを聞く。

町内を回ったが、所どころに石ころが町道へ転がっていた。

車を降りて、石ころを拾って通ったこともあり、地元の人たちによれば、この落とす原因がほとんどイノシシの悪さではないかというようなことも言っていた。車で走って

中山間地の町道維持管理については、月に2回まちづくり課職員により町道パトロールを実施している。また、集中豪雨や台風の翌日にも町道に支障がないか、パトロールを行っている。

質問の町道については、まちづくり課の作業員にて年に2回から4回の草刈り、および小規模な崩土の取り除き等を行っている。

昨年度、中山間地域の一部では例年より草刈りの作業が遅れ、皆さんには大変ご迷惑をかけたが、本年度は5月中旬から草刈り作業を実施して

いる。

今後も定期的に町道パトロールを実施し、通行に支障がないように安全安心な町道の維持管理に努力する。

答 大西町長

中山間の方からも指摘されるように、どうしても津波浸水予測区域の集落の中で避難道が整備され、さまざまな構造物の設置が進んでいることから住民感情としては少し不公平感が生まれやすい環境ではないかと思っている。

万全な体制ということではないが、できるだけ地域整備事業については、中山間地域への優先的な配分を指示している。中山間地域の交通量の多い道路は多くの皆さんが目にするので、不良個所などの意見をいただきやすい環境にあると思うが、山間地域での交通量の少ない所、こういったなかなか目の届きにくい所については、なかなか意見が挙がりにくい環境であろうかと思っている。そういったことを排除するためにしっかりと

と定期的な見回りをこれまで以上に充実していければと思っている。

なお、まだ大型事業が相当控えており、山間地域のみならず、まだまだ地域で要望を持ち、かつ数年間待っている地域もある。できるだけ不公平感がないように整備に努めていきたい。



只今、町道の草刈りや、小規模崩土の取り除き作業中です！

